

7つのサークルから、真に「地域住民に開かれた存在」へ

～愛川ウエルネスネットワーク（神奈川県愛川町）

1. 13年前、レッスンの振替から出発

愛川ウエルネスネットワークは、約13年前に、愛川町中津公民館（レディースプラザ）を拠点とする2つのサークルと、田代児童館を拠点とする2つのサークルが、お互いにレッスンの振替として行き来ができる形で生まれました。

健康や体力の維持・向上のためには、運動を、週1回より、週2～3回行なうことが理想です。そこで、サークル間の垣根を取り払い自由に行き来できるシステムに改善し、自分の予定に合わせて、週何回でも気軽に身体を動かせるようにしました。

また、エアロビクスだけでなく、ストレッチ、ダンス、リラクゼーションなど、種目も増やしていき、ウエルネスネットワークに所属するサークル数も4つから7つに増えていきました。

2. 総合型クラブとの出会いで、自信がついた

ところが公民館では、ひとつの利用団体が大勢の会員を抱え、たくさんの利用枠を確保してしまうことを是としていません。そのような背景から、愛川ウエルネスネットワークは、公民館で活動を続けていくために、町からの指導を受けながら、1つの組織というよりは、それぞれ個々に独立した7つの利用団体としての活動へと移行せざるを得ない状況でした。

そのような折に出会ったのが「総合型地域スポーツクラブ」です。県体協や町役場の方々の説明によると「いつでも、だれでも、いつまでも」「複数の種目が楽しめる」クラブだということで、愛川ウエルネスネットワークの理想と一致し、無理せずにチャレンジできることから始めてみようということになりました。

活動当初のころには時期尚早で、サークル同士が「つながる」ことの意義が周囲に理解されにくかったのですが、ようやく認められるようになったことを大変嬉しく感じ、私たちの本来目指していたクラブ像に向かって、また気持ちを新たにがんばっていこうという自信と意欲がみなぎってきました。



ストレッチ&セルフケアの教室

そして、7つのサークルから立候補で設立準備委員が決まり、サークル同士が刺激し合ったり、参加し合ったりする環境をつくることに、胸を張って取り組んでいます。

「ウエルネスでを見つけよう！ 私サイズの健康法」が新しい理念に決まりました。新たなプログラムへのチャレンジや、地域イベントへの協力も行っています。

3. 町全体を視野に入れた活動が不可欠

行政との協力体制にも恵まれ、町主催のイベントへの参加・協力は、私たちの活動を多くの方々に身近に感じていただけるよい機会になりました。また、町の広報などへのクラブイベントの紹介、会場確保などの面で協力が得られた点も大きなプラスです。

7つのサークルの個性を生かし、地域ともつながり合うことができる今の状態はとても有意義で、地域を基盤としてつながりあうことにより、相乗効果が生まれていると感じています。

4. つながることで、社会の変化やニーズに対応

公民館についても、時代背景や社会構造に伴い変化していく地域住民のニーズを敏感にキャッチし、従来のやり方や形式にのみ固執するのではなく、真の意味での「地域住民のために開かれた存在（スペース）」であってほしいと願っています。

子どもや若者、高齢者、様々な世代の地域住民が気軽に集える、まさにクラブハウスのような公民館が期待されているのではないのでしょうか。

公民館や地域の様々な団体と連携し、「みんなが元気で楽しくつながって」活動していけることが、私たち愛川ウエルネスネットワークの願いです。総合型クラブを目指して、私たちのチャレンジは続きます。

(小林光子 愛川ウエルネスネットワーク代表)

【愛川ウエルネスネットワーク・プロフィール】

1. 設立

設立年：2011年3月（予定）

母体：愛川ウエルネスネットワーク

経緯：地域で活動してきた私たちの理念と総合型クラブが似ていました。

2. 地域

人口（地区人口）：約43,000人

地域特性：神奈川県北部に位置し、「町民みなスポーツのまち」を掲げる、地域スポーツの盛んな町です。

3. クラブ

会員数：約100名

予算規模：約2,000,000円

4. 連絡先

神奈川県体育協会（TEL 045-311-0653代）までお問い合わせください。

関連リンク：(財)神奈川県体育協会 <http://www.sports-kanagawa.com/>